

## 『お年寄りから子どもまで安心して住める街に・・・』

### 山田議員・藤田県議候補・党支部が新潟市に要望』

過疎化・高齢化がすすむ新潟市中心部の住民アンケートに寄せられた切実な要求で、日本共産党新潟地区委員会中央・北部地区協議会と藤田孝一県議候補は26日、市に、お年寄りから子どもたちまで安心して生活できる施策充実を要望しました。山田修一市議、地域内5支部の代表ら14人が参加しました。

要望では、新潟島地域の特養ホーム増設、痴ほう老人むけのケア施設設置 学童保育・児童館の増設、小児科診療の充実 若い人が住める住宅の整備 四ツ谷町・二葉町付近のバス路線の確保と東堀12番町の押しボタン信号の改善など19項目を求めました。

当局は、海浜公園に多目的広場を設け、スケートボードやストリートバスケットなどができるよう今年度中に整備すると回答。プラスチックごみの回収日改善では、月曜の振り替え休日と重なる地域については、来年度から5月と11月を除く月曜の振り替え休日は回収すると答えました。

そのほか、危険な坂になっている湊小学校周辺に、03年度から融雪剤をまくと回答しました。(2月意28日・・・しんぶん赤旗記事より)